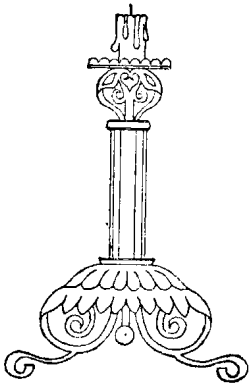
中原中也全集 4

中原中也全集

4



日記・書簡

中原中也全集　第4巻
日記・書簡

1968年2月20日　初版發行
1979年4月30日　II版發行

著者　中原中也
編者　大岡昇平
　　中村稔
　　吉田凞生
發行者　角川春樹
印刷者　中内あき子

發行所　角川書店
東京都千代田區富士見
2の13 Tel (265)7111
振替東京3-195208
中光印刷・鈴木製本

0395-571704-0946(2)

目

次

〔日記〕

一九二七年（精神哲學の卷）　七

一九三四年　一〇三

一九三五年　一三一

一九三六年　一九九

一九三七年　二二一

千葉寺雜記　二三三

日記　二四七

试读结束：需要全本请在线购买： www.ertongbo

〔書簡〕
一九二五年 三〇〇
一九二六年 三一〇
一九二七年 三一〇
一九二八年 三一九
一九二九年 三二五
一九三〇年 三四一
一九三一年 三五五
一九三二年 三七七

一九三三年　三九九
一九三四年　四一七
一九三五年　四三三
一九三六年　四四七
一九三七年　四五一
解説　四七六
編註　五一一

日

記

一九二七年（精神哲學の卷）

尋仙未向碧山行
住在人間足道情

一月十二日（水曜）

向上するのは性格ではない、道徳だ。

※

心懸けとしては道徳しかない。

（質實であればよいのだ。）

一月十三日（木曜）

頭の悪いといふことだけが罪悪だ。

（恐らく地上最後の言葉）

一月十四日（金曜）

惠まれてゐるといふ。

また惠まれてないといふ。

いかにも不公平なやうだ。

だつて惠まれた者は惠まれてるだけ好いことをし、惠まれてない者は惠まれてないだけのことしか

试读结束：需要全本请在线购买： www.ertongbo

してはゐないではないか。

一月十五日（土曜）

天才だけが好いのだ。

あとは何といつても大同小異なのだ、それに過ぎないのだ。

※後日附記。右の言葉は、蠻性を憎むあまりに放ちたる、若々しさの語のみ。

一月十六日（日曜）

こんなにがちやがちやの時代に、専門的にばつかり勉強してる、好い藝術家つてものはゐない。

一月十七日（月曜）

孤獨以外に、好い藝術を生む境遇はありはしない。

交際の上手な、この澱粉過剰な藝術家さん。

一月十八日（火曜）

私は、光を慕ふ。

併し、光の中では子供らしくも極端なエゴイストになる。（女よ、私は嫌か？）

一月十九日（水曜）

自分に、方法を與へようといふこと。これが不可(いけ)ない。どんな場合にあるとも、この魂はこの魂だ。

一月二十日（木曜）

デザイン、デザインつて？　そんなものは犬にでも喰はせろ。
歌ふこと、歌ふことしかありはしないのだ。

一月二十一日（金曜）

主觀的といふことは、附加的といふことではない。
主觀的といふことこそ必然的なのだ。
便宜的藝術つて、ないつて話さ。

一月二十四日（月曜）

佐藤春夫のいふことは、何だつて大抵贊成だ、併し岩野泡鳴だけは、佐藤春夫が考へるよりよつぽど好いものがあつた。

一月二十五日（火曜）

覺書

相對 {Assertorical judgement　實然的判斷
Apadictic judgement　必然的判斷}

一月二十六日（水曜）

私はあまりに無意志的であつたので、その、抱く心意はひどく意志的であつた。

しかし私には、體につけるものとして黒以外は決して似合はないやうな、よくとればスケエルの大きい人のそれがある。

一月二十八日（金曜）

吾には甚だしき殉情、神聖なる怠惰がある。

吾には甚だしき計畫、神聖なる勞働がある。

吾が生活は熾烈によりて僅かに支へられたる統一がある。

吾が魂はかの「中庸」を想ひて憩ふ。

一月二十九日（土曜）

あらゆる好い藝術家は、めうに先生じみてゐた、その口吻の匂に。

一月三十日（日曜）

佐藤春夫のこと覺書

間ケツ泉

五月を好いと云ひ切る――

「人生を自尊心の戰場だといふ人生觀もなりたつであらう」といふ時――

日本には會話なし。

日本人にはアクチィヴィティがないから。則ち悲劇的なクライマックスに於ける獨語を中心とし、その近周りでだけしか會話に性格がない。會話に性格があるためには彼は愛ある人でなければならぬ。

一月三十一日（月曜）

心意といふものは、理智によつて存在する。感情的なものではない。而して發現されたる心意はやがて群集にとつての可見的彩畫樣のものとなる、これが社會の變遷を齎(もたら)す。性格(イリュジョン)だ。（そこで藝術家が自分の仕事を感情的なものだと普通に考へてる一應の理はあるが、心意といふものが分らないでは、オリジナルな力といふものはその作品に生れない。）

一月の讀書

小泉先生その他　　厨川白村

文學評論　夏目漱石
退屈讀本　佐藤春夫　面白し。愉快なり。
北歐神話　三星社　三分の一讀む。
佛語組織學　三才社
佛語獨習書　du Bousquê　金刺芳流堂　熱心に書かれたるもの。

二月一日（火曜）

教育の、可能な內容は、たゞに科學ばかりである。

二月二日（水曜）

人工的に人間が出來たら、私が首をあげる、
冗談ぢやない、この大事な首を。

二月三日（木曜）

可憐といふ感情は最も客觀的な立場に生ずるものだ。
……だから、天才でも、無名時には自我披瀝といふものが許されてゐないといふのか、さうか。

二月四日（金曜）

現代は天才こそアカデミックな勉強を要す。
そして、他のものは氣まぐれな、勉強するを要す。
こは眞に眞理、自讃いたします。

二月五日（土曜）

高橋新吉

まあなんと調子の低い作品を作したのだらう！
世界中で一番調子の低い！
それが、彼の素晴らしさ！

二月六日（日曜）

突進だ、たゞ突進だ！　そしたら個性も露はれよう。

二月七日（月曜）

擬人法

こんなに嫌ひなものはない。

试读结束：需要全本请在线购买： www.ertongbo